全國
商工新聞
長岡版
発行編集　長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七ー一
0258(33)5948
2023年
5月29日
第2149号

ひどいマイナンバー法・最悪の広島ビジョンに鉄槌を

○マイナンバー法等改定で情報漏洩・権利侵害

今国会で、健康保険証を廃止してマイナンバーカード一体型の保険証の取得を強要するマイナンバー法等改定案が衆議院を通過し参議院でも可決されようとしています。民商は一貫してマイナンバー制度に反対してきました。

元々マイナンバーカードの取得は任意のはずですが国民全員にとって絶対に必要な「健康保険証」と一体化させる事で実質マイナンバーの強制になる（カード取得しない人が医療を受けるためには自ら申請して新たに「資格確認書」の取得が必要）、ひどい人権無視の法律です。さらに今回は、

① 現状社会保障等の行政事務に限られている利用範囲を拡大し、また今まで法律の中で限定されていた「情報照会・提供」の機関と事務を国会での承認ではなく政府の決める「政令」各省庁が決める「省令」で定められるようにする

② 「マイナ保険証」の導入に伴い、現状保険料滞納者に発行している「被保険者資格証明書」「短期保険者証」発行の仕組みを廃止する

事になっています。①は今後改定を繰り返して行けば「○○さんはどの事業でいくら稼いで、どの銀行に資産がいくらあって、いつどういう病気にかかって、いまどういう状態か」という個人情報を政府がいつでも把握でき、政府の好きなように民間へ情報提供できるようになるかもしれません。また②の結果、いままで保険料滞納者と自治体が「納付相談」してきた関係が変わり、保険証取り上げや無保険の可能性があります。

民商会員のなかには、事業の厳しさから健康保険料の支払いで苦労され「国保料の減免」「換価の猶予」等を利用している方も多いので、今回の改定は決して無関係ではありません。

○広島サミットで「核廃絶」に背を向けた

今回の広島サミットでは、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が出されましたが、わざわざ被爆地広島で出したにも関わらず最悪の内容でした。

多くの人が望む「核廃絶」の言葉も、多くの国が賛同し進めようとしている「核兵器禁止条約」についての記述もなく、「われわれの安全保障政策は、核兵器は・・・侵略を抑止し、戦争・威圧を防止すべきとの理解に基づいている。」として「核抑止論」「核による平和」に固執した今までの主張となにも変わりないものでした。被爆者からも専門家からも活動団体からも批判を浴びていますが、19日に「広島ビジョン」を発表して以後は、「ウクライナへの最大限の軍事支援で一致団結」を強調しておわりました。

「平和でこそ商売繁盛」を常に主張し、毎年の「原水爆禁止国民平和大行進」や「原水爆禁止世界大会」にたびたび参加している民商としても、参加各国国民の願いに背を向けた最悪の内容に皆がっかりです。

○変わらぬ政治に鉄槌を

今後解散総選挙のような動きがあるかもしれません。ひとりひとりが国政に口を出すには選挙が一番です。その時はぜひ貴重な1票を使って声を上げましょう。

夏の暑さから4月並の寒さへ。気温の乱高下にバテないよう、睡眠と食事はしっかりと。

＜労働保険事務組合より＞

労働保険年度更新手続きを終えました。

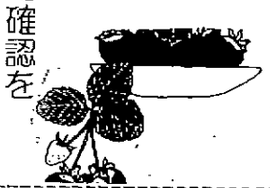
○一般労働保険について4月中旬より労働保険料の令和4年度分確定と令和5年度分概算の計算に必要な資料について、全ての委託事業所からいただく事ができました。

今年度の保険料納入通知（期別の納入日と納付額）は6月上旬から中旬にかけてお送りします。また1期分保険料の口座引落は6月28日に予定していますが、ハガキにて事前に各事業所あてにお知らせします。よろしくお願いします。

○一人親方労働保険についても、保険料の納入通知（期別の納入日と納付額）を封書で通知致しますので、期日までに振込をお願いします。

○最近、元請けからの要望と思われる労働保険の加入証明発行を依頼される事が多いのですが、以前に比べ、基礎日額や特別加入者氏名、保険料など具体的な要望が多くなっているようです。必要に応じて書類作成しますので、相手の要望内容をよくご確認の上お電話ください。

事務所への来訪はあらかじめ電話で確認をみなさんと同じく、民商事務局にも仕事の締め切りがあります。せっかく来て頂いてもうまく対応できない場合もありますので、相談などある場合はあらかじめ電話でご確認の上、約束してからおいでください。



NO. 1698 P. 1/1
2023年 5月24日 8時47分 長岡民商工会